

小樽商科大学 卒業論文 (昭和53年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和53	4974	(文献紹介)J.N.バクワティ編「新国際経済秩序:南北問題の争点」	
昭和53	4975	(翻訳) H.G.ジョンソン著『発展する世界経済の比較生産費と通商政策の理論』	
昭和53	4976	小島貿易理論の展開 -自由貿易と海外直接投資-	
昭和53	4977	(文献紹介) H.W.シンガー著『豊かな国と貧しい国』	
昭和53	4978	(翻訳)J.ヴァイナー著『国際貿易理論研究:第8章・貿易利益、比較生産費説』	
昭和53	4979	(文献紹介) M.ナツシュ編「B.F.ホセリッツ教授教授記念論文集:経済発展と文化的変化」	
昭和53	4980	(文献紹介)国連報告「多国籍企業の開発と国際関係に与える影響」	
昭和53	4981	(翻訳)K.P.サバント、H.ハーセンフルグ編「新国際経済秩序」	
昭和53	4982	信用状統一規則と国際コンテナ輸送	
昭和53	4983	ニューヨーク金融市場の実情	
昭和53	4984	信用状の機能	
昭和53	4985	オイルマネーと日本経済 -オイルショックの直撃を受けた日本-	
昭和53	4986	信用状の経済的意義	
昭和53	4987	知られざる円高の側面	
昭和53	4988	貨物海上保険普通約款の逐条解説	
昭和53	4989	円高相場の示現とその背景	
昭和53	4990	円高問題と先物介入	
昭和53	4991	出合為替と為替操作	
昭和53	4992	わが国国際収支の動向と構造	
昭和53	4993	北海道経済の歴史的発展と小樽	
昭和53	4994	高度成長のメカニズム	
昭和53	4995	北海道経済の発展と問題点	
昭和53	4996	日本の農業問題	
昭和53	4997	戦後日本の金融構造と企業の資金調達	
昭和53	4998	経済成長と産業構造の変化	
昭和53	4999	工業立地の現状と地域開発	
昭和53	5000	日本の産業構造変化	
昭和53	5001	医療の経済	
昭和53	5002	地方自治体の財政危機	
昭和53	5003	地域問題と地域間産業連関分析	
昭和53	5004	農産物の需要と価格	
昭和53	5005	現代日本の産業構造分析	
昭和53	5006	戦後日本経済の発展と課題	
昭和53	5007	北海道開発の過程と課題	
昭和53	5008	中小企業の現状と課題	
昭和53	5009	インフレーション理論 -展望的考察-	
昭和53	5010	公害の理論的解明と現状分析	
昭和53	5011	経済安定と財政政策 -財政政策の効果のマクロ理論的考察-	
昭和53	5012	労働市場とその配分機能 -労働市場を巡る諸理論を中心とした考察-	
昭和53	5013	人的資本投資と年功賃金	
昭和53	5014	想定分析と統合分析	
昭和53	5015	同時方程式モデルにおける統計的推論	
昭和53	5016	漸近分布理論	
昭和53	5017	混合推定と消費者割り当て問題	
昭和53	5018	分布ラグと一般化最小二乗法	
昭和53	5019	ハイパーインフレーションの貨幣動学	
昭和53	5020	経済安定化政策	
昭和53	5021	マンパワー政策 -人間行動との関連-	
昭和53	5022	ブルーナー・メルツァーモデルの評価と修正	
昭和53	5023	ヒックスとフリードマンの貨幣理論	
昭和53	5024	フィリップス曲線論における失業	
昭和53	5025	政策発動の条件に関する一考察 -ルールか裁量政策か-	
昭和53	5026	アーヴィン・フィッシャーの「貨幣の購買力」に関する一考察	
昭和53	5027	貨幣と経済行動 -トランスミッション・メカニズムをめぐる三つの理論-	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和53年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和53	5028	市場情報と失業 -情報コスト理論からの考察-	
昭和53	5029	負の所得税についての考察	
昭和53	5030	戦後日本の消費者支出 -若干の理論的ならびに経験的結果-	
昭和53	5031	ヒックスの景気循環理論の再検討	
昭和53	5032	貨幣と経済均衡	
昭和53	5033	都市問題とその展望 -特に地価に関連して-	
昭和53	5034	日本経済と公害問題	
昭和53	5035	イギリスにおける貧困から社会保障への展開	
昭和53	5036	タテ社会の中の日本	
昭和53	5037	環境破壊とその対策	
昭和53	5038	地域社会の復権と地域福祉	
昭和53	5039	アメリカ合衆国と福祉国家	
昭和53	5040	地下の騰貴と土地税制	
昭和53	5041	高齢者問題と年金制度について	
昭和53	5042	ユーゴスラヴィア	
昭和53	5043	成長率目標の意義	
昭和53	5044	人権からの社会保障への接近	
昭和53	5045	国民所得と生産活動	
昭和53	5046	日本経済の寡占的機構分析	
昭和53	5047	北海道経済と中小企業問題	
昭和53	5048	景気・経済予測の諸方法と80年代の日本経済	
昭和53	5049	産業連関論	
昭和53	5050	マルクス経済学における恐慌論	
昭和53	5051	小樽における近代資本の生成 -明治・大正・昭和の戦前における地場資本と中央・道外資本の相互展開を中心として-	
昭和53	5052	小樽における商人の歴史的な性格 -明治・大正期の道産豆類の取引形態を中心として-	
昭和53	5053	製糸業の発達とその労働について	
昭和53	5054	幕末の民衆運動エネルギーの残したも -「ええじゃないか」を中心として-	
昭和53	5055	金融恐慌と鈴木商店	
昭和53	5056	戦前の小樽の外国貿易	
昭和53	5057	米騒動(1918年)発生原因の探究	
昭和53	5058	日清戦争と日本紡績業	
昭和53	5059	田中正造 その思想と行動	
昭和53	5060	資産選択の理論 -2パラメータ理論による資産選択の理論の考察-	
昭和53	5061	貨幣需要理論とその分析	
昭和53	5062	貨幣需要論	
昭和53	5063	日本の貸出市場 -その不均衡について-	
昭和53	5064	アダム・スミスにおける蓄積論の構造	
昭和53	5065	スミスの再生産論	
昭和53	5066	アダム・スミスの歴史分析	
昭和53	5067	アダム・スミスの『道徳感情論』研究	
昭和53	5068	『国富論』第一編における労働の分析	
昭和53	5069	アダム・スミスにおける市民社会の経済学的分析	
昭和53	5070	アダム・スミスにおける「旧帝国主義論」 -重商主義・重農主義との関連において-	
昭和53	5071	アダム・スミスの自然価格論	
昭和53	5072	J.スチュアート『経済学原理』における構造的把握	
昭和53	5073	アダム・スミスの生産理論	
昭和53	5074	ユーロダラー市場の成長とその信用乗数	
昭和53	5075	外国為替レートの単一化	
昭和53	5076	過去の歴史における変動為替相場の経験:理論、実証と新見解	
昭和53	5077	解放経済下のポートフォリオ調整	
昭和53	5078	情報と多国籍企業対外直接投資の転用性理論	
昭和53	5079	広告コミュニケーションの現状とその新しい形態への展望 -比較広告を中心として-	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和53年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和53	5080	市場細分化論の新しい傾向 -細分化基準からの分析-	
昭和53	5081	ウイスキーの商品学的研究	
昭和53	5082	日本の流通機構についての分析	
昭和53	5083	再販売価格維持について	
昭和53	5084	日本人と広告 -広告機能の実証研究-	
昭和53	5085	現代の広告の環境と課題 -社会責任論を中心として-	
昭和53	5086	日本におけるストア・ブランドの歴史と現状	
昭和53	5087	価格競争と非価格競争	
昭和53	5088	マーケティングにおけるプロダクト・ライフ・サイクル概念	
昭和53	5089	生命保険とその問題点	
昭和53	5090	広告の経済的効果	
昭和53	5091	発生主義会計の再検討	
昭和53	5092	財務会計情報に関する一考察 -報告を中心にして-	
昭和53	5093	会計主体論に関する一考察	
昭和53	5094	損益会計に関する一考察 -会計の目的、機能との関連から-	
昭和53	5095	保守主義会計に関する一考察 -低価主義評価を中心として-	
昭和53	5096	会計における真実性に関する一考察	
昭和53	5097	資本剰余金諸項目の再検討 -特に贈与剰余金と再評価剰余金について-	
昭和53	5098	減価償却の歴史的考察 -アメリカ鉄道業を中心として-	
昭和53	5099	会計主体論	
昭和53	5100	小売プロモーションの考察	
昭和53	5101	小売経営立地に関する一考察 -コミュニティ文出来と商圈-	
昭和53	5102	マーチャンダイジングへの一考察 -口揃え決定-	
昭和53	5103	小売店における価格決定モデル	
昭和53	5104	小売流通の基本的考察	
昭和53	5105	現代における広告の作用と役割についての考察	
昭和53	5106	消費者のコミュニケーション受容過程に関する一考察	
昭和53	5107	広告システムと消費者行動	
昭和53	5108	アルコール症患者の夫婦関係	
昭和53	5109	古代ギリシア・ローマにおけるワインとアルコール症	
昭和53	5110	アルコール症者の夫婦役割関係	
昭和53	5111	理想と現実 -禁酒運動-	
昭和53	5112	アイルランドにおける叔権制の再出現と独身者集団	
昭和53	5113	アルコール中毒の夫婦役割関係	
昭和53	5114	アルコール症患者の家族関係	
昭和53	5115	シャマン病とその要因	
昭和53	5116	ユダヤ人の精神的風土と経済活動	
昭和53	5117	非行について	
昭和53	5118	アルコール症患者とその妻の夫婦役割関係	
昭和53	5119	アイルランド系アメリカ人の飲酒問題	
昭和53	5120	ウェーバーと大学問題	
昭和53	5121	戦後の証券市場の歴史	
昭和53	5122	自動車産業の現状と将来性	
昭和53	5123	バーナードの経営学における位置づけ	
昭和53	5124	第三編 バーナード組織均衡論に対する占部理論とその批判的考察	
昭和53	5125	バーナード以前の組織論とバーナード組織論	
昭和53	5126	バーナードの基本的問題	
昭和53	5127	欠番(次年度の5382へ)「日本におけるバーナード研究」	
昭和53	5128	第二編 日本におけるバーナード研究 -田杉教授に於いて-	
昭和53	5129	第一編 バーナード理論がいかんにして日本に導入されたか、又いかにして理解されたか	
昭和53	5130	バーナード理論の背景にある概念的枠組の一考察 -アルフレッド・ノース・ホワイトヘッドとバーナードとの関りを探る-	
昭和53	5131	リーダーシップ論の系譜	
昭和53	5132	企業行動と経営戦略	
昭和53	5133	日本的経営と年功序列制	
昭和53	5134	待ち行列の理論と実際	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和53年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和53	5135	在庫管理とOR	
昭和53	5136	OR手法とFORTRANプログラミング	5136と5137合本
昭和53	5137	OR手法とFORTRANプログラミング (5136と共著合冊)	5136と5137合本
昭和53	5138	ゲームの理論	
昭和53	5139	線型計画と経済問題	
昭和53	5140	ゲームの理論	
昭和53	5141	設備更新の経済理論	
昭和53	5142	単一時系列による需要予測	
昭和53	5143	PERTとCPMについての一考察	
昭和53	5144	日本の企業集団 -その形成より将来について-	
昭和53	5145	予測	
昭和53	5146	ゲームの理論 -零和2人ゲームの理論とその解法-	
昭和53	5147	ORとは何か	
昭和53	5148	ミニ・アセンゴブリ言語MALICO700	
昭和53	5149	シミュレーション言語WIDES	
昭和53	5150	文献検索システム	
昭和53	5151	I8080系のクロスアセンブラ	
昭和53	5152	PLAN処理系の移植	
昭和53	5153	乱数とその検定	
昭和53	5154	BCPLシステムの移植	
昭和53	5155	Tiny BASICインタプリタの作成	
昭和53	5156	アセンブリ言語の作成	
昭和53	5157	日本企業の海外投資における労務・人事問題	
昭和53	5158	国際石油資本の今後の発展	
昭和53	5159	国際石油資本の戦後中東戦略とOPEC	
昭和53	5160	多国籍企業と発展途上国 -ラテン・アメリカにおける多国籍企業を中心として-	
昭和53	5161	多国籍企業における国際振替価格	
昭和53	5162	日米企業の海外直接投資パターン	
昭和53	5163	日本の多国籍企業 -アジアにおけるその活動-	
昭和53	5164	日本の多国籍企業の経営と行く方 -日本的経営の是非-	
昭和53	5165	多国籍企業と発展途上国	
昭和53	5166	日本型多国籍企業の総合商社	
昭和53	5167	国際石油資本 -七大メジャーの史的発展-	
昭和53	5168	多国籍企業と直接投資	
昭和53	5169	多国籍企業の技術移転問題	
昭和53	5170	多国籍企業と国家主権及び国家利益	
昭和53	5171	資源問題と海洋開発	
昭和53	5172	ヨーロッパ共同体の法的性質	
昭和53	5173	EC共通農業政策の実態	
昭和53	5174	欧州議会の現状分析と直接選挙について	
昭和53	5175	EECの間接同盟をめぐるRegionalismとGlobalism	
昭和53	5176	保護貿易主義と選択的セーフガード	
昭和53	5177	夫婦の財産関係について	
昭和53	5178	名誉とプライバシーの問題 -マスコミ判例を中心として-	
昭和53	5179	離婚「親族との不和」 -その日本的性格を中心として-	
昭和53	5180	幼女の逸失利益	
昭和53	5181	老人福祉行政の現状と将来の方向について	
昭和53	5182	食品公害	
昭和53	5183	損害賠償請求権の相続	
昭和53	5184	学校事故の賠償責任と救済の実態、立法論について	
昭和53	5185	医療過誤訴訟における民事問題	
昭和53	5186	教育財政と私費負担	
昭和53	5187	仮登記担保法の意義と諸問題	
昭和53	5188	薬品公害 -北陸、東京スモン判決からのアプローチ-	
昭和53	5189	生への尊厳と欲求 -水俣病-	

小樽商科大学 卒業論文（昭和53年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和53	5190	表見代表取締役と共同代表取締役	
昭和53	5191	法人各否認の法理について	
昭和53	5192	取締役の第三者に対する責任の性質についての判例、学説の比較検討	
昭和53	5193	株式の評価	
昭和53	5194	「見せ金」による株式払返の仮装	
昭和53	5195	株券発行前の株式譲渡	
昭和53	5196	役員の退職慰労金に対する法的規制	
昭和53	5197	瑕疵ある取締役会決議にもとづく新株発行の効力	
昭和53	5198	特別利害関係人の議決権排除	
昭和53	5199	取締役・会社間の取引 -間接取引	
昭和53	5200	商法第262条-商法12条との関係について	
昭和53	5201	日本国憲法史	
昭和53	5202	三島由紀夫と天皇制	
昭和53	5203	日米安全保障体制 -その歴史的変遷	
昭和53	5204	生存権の権利性とその法理	
昭和53	5205	企業成長に対する広告の影響	
昭和53	5206	人間と対戦する朝鮮五目のプログラム -人口知能との応用例-	
昭和53	5207	石狩湾新港建設が小樽に及ぼす影響	
昭和53	5208	財務諸表による経営シミュレーション	
昭和53	5209	日本経済分析 -計量経済学的手法とダイナモによるコンピューターシミュレーション手法との比較-	
昭和53	5210	DYNAMOのT.S.S.処理	
昭和53	5211	雇用保障法の成立と展開	
昭和53	5212	企業の採用の自由と基本的人権	
昭和53	5213	ユニオン・ショップの違法性	
昭和53	5214	採用時における性差別について	
昭和53	5215	女子労働 -保育をめぐる問題点-	
昭和53	5216	組合活動・争議行為と賃金請求権	
昭和53	5217	労組法16条の解釈と協約自治の限界	
昭和53	5218	年次有給休暇とその争議利用について	